

「南海トラフ地震臨時情報（調査中）」について

令和7年1月13日21時19分、日向灘を震源とするM6.9の地震が発生したことを受け、同日21時55分、気象庁から、「南海トラフ地震臨時情報（調査中）」が発表されました。

※「南海トラフ地震臨時情報（調査中）」とは

南海トラフ沿いで発生した地震等がきっかけで、南海トラフ沿いで連続して大規模な地震が発生する可能性があるため、調査を行っていることをお知らせする情報です。

今後、有識者からなる「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」により地震の評価が行われますが、評価結果は、以下の3パターンが考えられます。

【臨時情報の種類と必要な防災対応】

キーワード	内容	必要な防災対応
巨大地震警戒	■ 想定震源域内のプレート境界において、モーメントマグニチュード 8.0 以上の地震が発生したと評価された場合	■ 日頃からの地震への備えを再確認する等 ■ 後発地震が発生してからでは、避難が間に合わないおそれのある方は、事前避難の対応が必要（市・町の避難情報に従ってください。）
巨大地震注意	■ 監視領域内において、モーメントマグニチュード 7.0 以上の地震が発生したと評価された場合（巨大地震警戒に該当する場合は除く） ■ 想定震源域内のプレート境界面において、通常と異なるゆっくりすべりが発生したと評価された場合	■ 日頃からの地震への備えを再確認する等
調査終了	■ （巨大地震警戒）、（巨大地震注意）のいずれにも当てはまらない現象と評価された場合。	■ 大規模地震発生の可能性がなくなったわけではないことに留意しつつ、地震の発生に注意しながら通常の生活を行う

引き続き、気象庁から発表される情報を注視していただくとともに、国、県、市町等の呼び掛けに応じ、防災対応をとっていただきますようお願いいたします。

なお、評価結果は、情報名の後にキーワードを付記して「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）」等の形で、気象庁から発表されます。